

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公開番号】特開 2001-34272 (P2001-34272A)

【公開日】平成 13 年 2 月 9 日 (2001.2.9)

【出願番号】特願 平 11-234466

【国際特許分類】

G 1 0 K 11/178 (2006.01)

B 6 0 L 5/24 (2006.01)

B 6 0 R 13/08 (2006.01)

E 0 4 B 1/86 (2006.01)

F 0 1 N 1/02 (2006.01)

F 1 6 L 55/04 (2006.01)

G 1 0 K 11/28 (2006.01)

H 0 4 R 1/02 (2006.01)

E 0 1 F 8/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 K 11/16 H

B 6 0 L 5/24 Z

B 6 0 R 13/08

E 0 4 B 1/86 H

F 0 1 N 1/02 E

F 1 6 L 55/04

G 1 0 K 11/28 Z

H 0 4 R 1/02 1 0 1 E

E 0 1 F 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 12 日 (2006.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】焦点を有する音波反射板と、該音波反射板の焦点に集束された音のエネルギーの消耗を促進する音波干渉器と、前記音波反射板の焦点に集束された音を前記音波干渉器内に導入する音波導入口とを具備し、前記音波導入口を狭い導入口とすることによって、前記音波干渉器内に導入された音が逆戻りして容易に外へ出られないようにしたことを特徴とする消音装置。

【請求項 2】上記音波干渉器を構成する壁面の対向する面を平行とならない変則的な反射面とし、音波干渉器内には多孔質材料を配したことを特徴とする請求項 1 記載の消音装置

。